

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	きめ細かい調査の制度設計に係る調査研究		担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	参事官付		参事官 下間 康行		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ－Ⅰ 確かな学力の育成				
根拠法令(具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	平成23年度以降の全国的な学力調査の在り方に関する検討のまとめ(平成23年3月全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成25年度全国学力・学習状況調査で実施を予定している「きめ細かい調査」の具体的な制度設計を行う。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	国として教育格差等の状況を把握・分析し、関連する施策の検証を行うとともに、教育委員会等や学校等が行う教育改善に資するため、市町村、学校等の状況も把握することが可能な「きめ細かい調査」の具体的な制度設計について検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算					5	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					5	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(24年度)
	平成23年度以降の全国的な学力調査の在り方に関する検討のまとめ(平成23年3月 全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議)を踏まえ、「きめ細かい調査」の具体的な制度設計を行うこと(調査の制度設計を成果目標としているため定量的な目標値の設定は困難である。)			成果実績	—	—	—	—
				達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	採択件数			活動実績(当初見込み)	件	—	—	—
						—	—	※24年度の活動見込である (1)
単位当たりコスト	5百万円(円/ 1件)			算出根拠	5百万円/1件 (平成24年度概算要求額/採択件数)			
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求				
	初等中等教育等振興事業委託費		—	5百万円				
	計		—	5百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○平成25年度の調査については、</p> <p>①平成23年度は震災の影響等により調査を見送ったこと</p> <p>②「平成23年度以降の全国的な学力調査の在り方に関する検討のまとめ」(平成23年3月 全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議)において、「数年に一度は、市町村、学校等の状況も把握することが可能な「きめ細かい調査」を検討することが必要」と提言されていること</p> <p>などを踏まえ、国として教育格差等の状況を把握・分析し、関連する施策の検証を行うとともに、教育委員会等や学校が行う教育改善に資するため、「きめ細かい調査」を実施することとしている。</p> <p>○「きめ細かい調査」を25年度に実施するに当たり、24年度に本調査研究により、調査の具体的な制度設計の検討を行う必要がある。</p>		
	予算監視・効率化チームの所見		
		<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
5百万円



【総合評価入札・委託】

A. 民間企業等(全1法人)
5百万円

〔「きめ細かい調査」の具体的な制度設計の検討〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.民間企業等(1機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@5百万円×1機関	5			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0